

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年7月13日

【四半期会計期間】 第27期第1四半期(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

【会社名】 株式会社ライフフーズ

【英訳名】 Life Foods Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 清水 三夫

【本店の所在の場所】 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号

【電話番号】 06 - 6338 - 8331(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役
兼執行役員総務本部長 吉岡 利行
兼財務部長

【最寄りの連絡場所】 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号

【電話番号】 06 - 6338 - 8331(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役
兼執行役員総務本部長 吉岡 利行
兼財務部長

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第26期 第1四半期累計期間	第27期 第1四半期累計期間	第26期
	自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日	自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日
売上高 (千円)	3,005,302	3,073,466	11,854,175
経常利益 (千円)	114,245	140,532	357,145
四半期(当期)純利益 (千円)	53,743	70,276	196,236
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)			
資本金 (千円)	1,838,526	1,838,526	1,838,526
発行済株式総数 (株)	18,302,000	18,302,000	18,302,000
純資産額 (千円)	3,254,084	3,466,853	3,396,577
総資産額 (千円)	8,213,461	7,712,077	7,657,804
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	2.94	3.84	10.72
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
1株当たり配当額 (円)			
自己資本比率 (%)	39.6	45.0	44.4

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、四半期連結累計期間等に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。また、持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについても重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による景気の停滞から緩やかな持ち直しが見られたものの、深刻化している欧州債務危機問題や、不安定な為替相場等、継続的な景気の先行き不透明感の中で推移しました。

外食産業におきましても、世帯1人あたりの外食支出額や法人交際費等の減少傾向により、市場規模が縮小し厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は、一汁三菜をコンセプトに、旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった低価格定食屋業態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開をおこなっております。並行して、できたてメニューにこだわった「ザめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、各業態期間限定メニューを導入し、「ザめしや」では高級感のあるまぐろ漬けごはんと牛バラ焼等の鉄板焼きの販売、「街かど屋」ではカレーかつ定食やデミかつ定食等の各種とんかつ定食を鉄皿でのご提供、「讃岐製麺」では気温の上がる4月から、梅のネバとろぶっかけうどん等を販売し涼麺フェアを実施しました。

当第1四半期累計期間の店舗展開につきましては、新規出店が1店舗、閉店が1店舗となった結果、店舗数は120店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で、売上高は3,073,466千円（前年同四半期比 2.3%増）、営業利益は賃借料の減少等コスト削減効果の影響で133,049千円（前年同四半期比 21.3%増）、経常利益は140,532千円（前年同四半期比 23.0%増）、四半期純利益は70,276千円（前年同四半期比 30.8%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により4,169,597千円（前事業年度末は4,022,674千円）となりました。新規出店数が予定を下回ったことや、既存店売上高の回復によるものであります。有形固定資産は、既存店舗の減価償却が進んだことで1,971,744千円（前事業年度末は2,016,670千円）、投資その他の資産は差入保証金の回収が進んだことで1,524,544千円（前事業年度末は1,570,830千円）となり、資産の部合計は、7,712,077千円（前事業年度末は7,657,804千円）となりました。

(負債の部)

流動負債は、買掛金の増加等により、2,109,935千円（前事業年度末は1,984,523千円）となりました。固定負債は、社債及び長期借入金の減少等により2,135,287千円（前事業年度末は2,276,703千円）となり、負債の部合計は4,245,223千円（前事業年度末は4,261,227千円）となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の増加等により3,466,853千円（前事業年度末は3,396,577千円）となりました。これにより、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は45.0%（前事業年度末は44.4%）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因

当第1四半期累計期間において、当社の経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年7月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,302,000	18,302,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	18,302,000	18,302,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年3月1日～ 平成24年5月31日		18,302,000		1,838,526		1,537,526

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり単元株式数は1,000株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,299,000	18,299	同上
単元未満株式	普通株式 2,000		(注)2
発行済株式総数	普通株式 18,302,000		
総株主の議決権		18,299	

- (注) 1 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年2月29日)に基づく株主名簿による記載をしております。
- 2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式667株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ライフフーズ	大阪府吹田市江坂町 1丁目13-41	1,000		1,000	0.0
計		1,000		1,000	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)及び第1四半期累計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成していません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,612,456	3,728,801
売掛金	8,564	10,128
商品	3,972	1,914
原材料及び貯蔵品	51,946	52,969
繰延税金資産	92,285	118,115
その他	253,450	257,668
流動資産合計	4,022,674	4,169,597
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,754,590	1,731,047
その他	262,080	240,697
有形固定資産合計	2,016,670	1,971,744
無形固定資産	47,628	46,190
投資その他の資産		
差入保証金	1,236,665	1,205,045
繰延税金資産	193,978	183,871
その他	140,697	136,137
貸倒引当金	510	510
投資その他の資産合計	1,570,830	1,524,544
固定資産合計	3,635,130	3,542,479
資産合計	7,657,804	7,712,077
負債の部		
流動負債		
買掛金	303,299	335,167
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	681,267	681,271
未払法人税等	67,463	89,137
賞与引当金	107,151	160,683
その他	785,340	803,675
流動負債合計	1,984,523	2,109,935
固定負債		
社債	110,000	100,000
長期借入金	1,277,372	1,157,054
長期預り保証金	151,800	146,627
退職給付引当金	261,669	265,347
その他の引当金	69,402	70,522
その他	406,458	395,736
固定負債合計	2,276,703	2,135,287
負債合計	4,261,227	4,245,223

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	20,906	91,183
自己株式	382	382
株主資本合計	3,396,577	3,466,853
純資産合計	3,396,577	3,466,853
負債純資産合計	7,657,804	7,712,077

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	1 3,005,302	1 3,073,466
売上原価	892,914	925,646
売上総利益	2,112,388	2,147,820
販売費及び一般管理費	2 2,002,699	2 2,014,770
営業利益	109,688	133,049
営業外収益		
受取利息	1,611	1,903
受取家賃	66,112	59,436
その他	13,066	11,971
営業外収益合計	80,791	73,311
営業外費用		
支払利息	11,601	8,866
賃貸収入原価	62,165	56,206
その他	2,466	756
営業外費用合計	76,234	65,828
経常利益	114,245	140,532
特別利益		
過年度損益修正益	2,739	-
特別利益合計	2,739	-
特別損失		
有形固定資産除却損	12,015	1,056
減損損失	-	4,884
店舗閉鎖損失	5,027	86
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	58,724	-
特別損失合計	75,766	6,026
税引前四半期純利益	41,217	134,505
法人税等	3 12,526	3 64,229
四半期純利益	53,743	70,276

【追加情報】

当第1四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
1 有形固定資産に係る国庫補助金の受入れによる圧縮記帳累計額 建物 33,368千円 その他 5,626千円	1 有形固定資産に係る国庫補助金の受入れによる圧縮記帳累計額 建物 33,368千円 その他 5,626千円

(四半期損益計算書関係)

前第1四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)																								
1 当社の売上高は、連休や夏休みなど休日が第1及び第2四半期会計期間に多くなることにより、第3及び第4四半期会計期間に比べ高くなる季節的変動があり、営業利益以下においても第1及び第2四半期会計期間に偏る傾向があります。	1 同左																								
2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。																								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 60%;">給与手当</td><td style="text-align: right;">261,878千円</td></tr> <tr><td>賃金</td><td style="text-align: right;">619,269</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">56,367</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">20,178</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">1,398</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td style="text-align: right;">403,365</td></tr> </table>	給与手当	261,878千円	賃金	619,269	賞与引当金繰入額	56,367	退職給付費用	20,178	役員退職慰労引当金繰入額	1,398	賃借料	403,365	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 60%;">給与手当</td><td style="text-align: right;">254,026千円</td></tr> <tr><td>賃金</td><td style="text-align: right;">651,978</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">53,532</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">21,149</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">1,429</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td style="text-align: right;">397,797</td></tr> </table>	給与手当	254,026千円	賃金	651,978	賞与引当金繰入額	53,532	退職給付費用	21,149	役員退職慰労引当金繰入額	1,429	賃借料	397,797
給与手当	261,878千円																								
賃金	619,269																								
賞与引当金繰入額	56,367																								
退職給付費用	20,178																								
役員退職慰労引当金繰入額	1,398																								
賃借料	403,365																								
給与手当	254,026千円																								
賃金	651,978																								
賞与引当金繰入額	53,532																								
退職給付費用	21,149																								
役員退職慰労引当金繰入額	1,429																								
賃借料	397,797																								
3 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。	3 同左																								

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
減価償却費	58,349千円	54,550千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

当社は、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

当社は、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	2円94銭	3円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	53,743	70,276
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	53,743	70,276
普通株式の期中平均株式数(千株)	18,300	18,300

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月9日

株式会社ライフフーズ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 松 田 茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 井 上 嘉 之 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 溝 口 聖 規 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ライフフーズの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの第27期事業年度の第1四半期会計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)及び第1四半期累計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ライフフーズの平成24年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。